

2023.03.18 その1

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

- ベテラン医師の皆様の医学に対する熱い情熱
- 医者同士のつながりについて
- 運動器超音波はかなり有用なことが分かりました。 糖尿病の講演はかなりわかりやすかった。 以前から気になっていたので Antaa 監修の本、早速注文しました。
- 整形超音波でできることがたくさんあることに驚きました。
- 糖尿病 認知症 リブレ
- 医師同士がつながることで患者さんが救える、という中山先生の言葉、いい教師になりたかったので学校勤務する前に一般企業で働こうと思ったという西山さんの言葉、うれしかったです。
- 整形エコー
- エコーで関節や骨や神経が見れて、診断でき、安全で正確な治療ができるようになること。
- 色々あっても、「はい、喜んで」の精神が大事
- 整形外科領域での超音波検査の有用性

2023.03.19 その2 午前の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

- オグメンチンまわり
- 経口抗菌薬のお話とてもわかりやすかった。耐性菌をつくりにくい選択という視点もこれからますます大切
- オグサワ 1日2回投与、心房細動心拍数 80 ぐらいで運動耐容能いい。
- 静注の鉄剤が効果があるかもしれないということ。
- すみません、あまり当番医のためきけなかったです。
- 抗菌薬の使い方、「目から鱗」でした。
- 心不全のお薬は良くなった後もやめてはいけない、ということです。
- どちらも面白かった！
- 感染症の治療原則
- 耐性、経口抗菌剤の使用 オグサワ fantastic 4
- 2題ともとても役に立ちました。
- サワシリンの用量

2023.03.19 その2 午後の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

- Antaa とのコラボ
- 発作性の症状から、psycho よりも bio の問題を疑うこと
- おどる救急医の三谷先生、近所なのでまたお世話になります。上原先生、psychiatric と psychogenic は違うのですね。
- bps モデルで考えることの重要性
- 身体症状症のポリファーマシーは医者せい
- 心不全の今
- vital sign の評価は病歴との組み合わせ。
- VR はすごいですね。
- 臨床における bps モデル活用の重要性